File 351:Derwent WPI 1963-2001/UD,UM &UP=200162

(c) 2001 Derwent Info Ltd

\*File 351: Price changes as of 1/1/01. Please see HELP RATES 351. 72 Updates in 2001. Please see HELP NEWS 351 for details.

6/5/1

DIALOG(R) File 351: Derwent WPI

(c) 2001 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

007011631

WPI Acc No: 1987-011628/198702

XRAM Acc No: C87-004673 XRPX Acc No: N87-008544

Extrusion moulding tool giving smooth surfaced prod. - has flow regulating blocks to vary fluid thickness in width direction

Patent Assignee: MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD (MATW )

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No Kind Date Applicat No Kind Date Week
JP 61270114 A 19861129 JP 85113570 A 19850527 198702 B

Priority Applications (No Type Date): JP 85113570 A 19850527

Patent Details:

Patent No Kind Lan Pg Main IPC Filing Notes

JP 61270114 A 3

Abstract (Basic): JP 61270114 A

In a mould for extrusion moulding used in extrusion moulder, flow regulating blocks are provided to vary thickness of fluid in direction of width.

Flow regulating block is formed with combination blocks, and at least inner surface is covered with soft resilient material. Flow regulating block is inserted as integral component.

USE/ADVANTAGE - Tool enables prodn. of moulded prod. with no unevenness influid after extrusion moulding and having smooth surface free of scratches by employing flow regulating block in extrusion moulder. Extremely useful for alumina sheets for semiconductor substrates demanding high surface smoothness.

Title Terms: EXTRUDE; MOULD; TOOL; SMOOTH; SURFACE; PRODUCT; FLOW; REGULATE; BLOCK; VARY; FLUID; THICK; WIDTH; DIRECTION

Derwent Class: A32; L02; L03; P64

International Patent Class (Additional): B28B-003/26; B29C-047/16

File Segment: CPI; EngPI

砂日本国特許庁(JP)

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭61-270114

Point Cl.

进別記号

庁内整理番号

母公開 昭和61年(1986)11月29日

B 28 B B 29 C

6526-4G 6653-4F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

会発明の名称 押出成形用金型

> 印持 顧 昭60-113570

多出 関 昭60(1985)5月27日

の発 明 中 Ш ぴ発 明 \* 井 立

道 正 秀 頁印

門真市大字門真1048香地 松下電工株式会社内

門真市大字門真1048番地 松下電工株式会社内

砂出 原 松下電工株式会社 の代 理 弁理士 松本 武彦

門真市大字門真1048番地

### 1. 発明の名称

押出成形用金型

# 2. 特許請求の質問

(1) 押出成形機に用いられる押出成形用金型に おいて、流動の厚みを幅方向で変えるための流揚 ,プロックを備えていることを特徴とする押出成形 用金型。

② 液陶ブロックが、複数の組合せブロックよ りなり、少なくともその内裏面が軟弾性体で被覆 されている特許請求の難屈第1項記載の押出成形

(3) 滋養プロックが、一体物として挿入されて いる特許請求の範囲第1項記載の押出成形用金型

# 3. 発明の評算な説明

この発男は、表質が平滑で底の少ない無機材料 食部品を押出収形することのできる押出収形用金 型に関する。

#### (背景技術)

金属、金属と非金属との中間化合物(アルミナ など)、非金属化合物(窒化珪素など)あるいは これらの混合物などの無機材料粉末は、押出法に より種々の形状に成形することができる。一般に 、その方法は、過度に粒度調整した無機材料粉体 に、有機パインダー溶剤あるいは水などを通当量 加え、よく遅続して坏土となし、フィードスクリ ューによって脱気室に送り、ここで坏土に含まれ る気泡を取り除き、その後食込みロールによって 押出しスクリューへ押し込み、このスクリューに よって前方へ送られた坏土を、成形用金型によっ て、所定の形状を育する製品に仕上げていた。

しかし、このような方法は、成形会型によって 製品表面に縦縞の筋模様が生じ易く、裏面品質を 着しく扱うことにもなっていた。とくに、美質雑 さの小さいことが要求される半導体基板用のアル もナ基板などでは、改善が強く要請されていた。

(発男の目的)

この発明は、成形用金型に用いられる波蘭プロ

ックを改善することにより、 表面平滑性にすぐれ た所定形状の成形品を得ることを目的とする。

(発明の開示)

この発明は、上記目的を達成するため、押出成 形態に用いられる押出成形用金型において、 液道 の厚みを幅方向で変えるための流調プロックを値 えていることを特徴とする押出成形用金型を要旨 とする。

以下にこれを、その実施例をあらわす四面に基づいて詳しく説明する。

第1回は、この発明を適用した、無機材料のされての発明を適用した、無機材料のされる装置の概略を示す。よくフィーを製造する装置の概略を示すれて、フィースを製造するで対断される。目 国 3 は、では、 1 回転カッター4で切断される。目 国 3 は、では、 2 では、 2 では、 2 では、 3 では、 5 では、 6 によって 6 によって 6 によって 6 によって 6 できれて 7 できれて 7 できれて 7 できれて 7 できる。

波瀾ブロック10が設けられている。第2回は、 波調プロック10を設けた金型の断面を示す。仮 りに、波鑼ブロックがないとすると、波入部11 からダイリップしもに導入される材料の流れは、 一般に、ダイリップ14の中央部で速く、その周 辺部で遅くなって、波動ムラが生じる。その結果 、成形されるシート9が不均質になる。そこで、 そのような流動ムラを無くすため、波瀾プロック 10を金型内に扱けておき、波岡ポルト13を通 宜捷め付けることによって、流調部12の間隔を 狭くし、材料の流動に抵抗を与えて、中央部と周 辺部の速度差を抑え、均一な流れとして、均質な シートに成形するのである。波偶プロック10は 、遺常、10数個組合せて用いられるが、隣接す るプロック同志に改差が生じ、この改差により流 勤する材料表面に拡状のきずが発生し、そのきず が成形後のシート9の表面に残るおそれがある。 そこで、この発明では、このような場合には、波

金型8の渡道には、成形されたシートの均一性

をよくするため、第2回に示すごとく、複数個の

展プロック 1 0 の面のうち、少なくども波動する 材料と接する内表面をプラスチック、ゴムなどの 軟弾性体 1 5 で被覆することにより、このような きずの発生を未然に防止するようにしている。

液潤プロック10の内表面に依得性体15を被 援するには、内表面のみに液状のプラスチック ゴムなどを整布後加熱、乾燥してもよいし、液調 ブロック全体を液伏プラスチック、ゴム中に 洗い、加熱、乾燥してもよい。また、シートを貼着 してもよい。要するに、波貫ブロックの内表面に 使して流動する材料がこの被復を、容易に、は 難しない程度に、被理がこのブロック表面に固着 されていれば足りる。

液調プロックは、第3回に示す如く、一体物で もよい。使用する材料またはその製造条件が特定 されている場合、その条件に合わせて予め一体物 の液調プロック10~を用意しておけば、条件ご とに液調ポルトで調節する手間が省け、それだけ 生産性を上げられるからである。このプロック内 要面にも前配と同様の方法で、プラスチック、ゴ ムなどの軟弾性体を被覆すると一層よい。 (公司の効果)

この発明にかかる押出成形用金型は、上にみたように、液調プロックを設けているため、これを押出成形機に用いることにより、押出成形後、液動ムラが生じず、しかも、きずの入らない平滑な数面を有する成形品を得ることができる。とくに、表面平滑性の要求が高い半導体基板用アルミナシートなどには、極めて有用である。

## 4. 図面の簡単な説明

第1回は、波瀾ブロックを備えた押出金型より、シートを製造する装置を根準的に示す一部切欠き側面図であり、第2回(a)。(b)。(c)は、波瀾ブロックを備えた押出金型の断面図であり、第3回(a)。(b)は一体物の波瀾ブロックの断面図を示す。

A … 押出成形機 8 … 押出用金型 9 … 押出成形 おされたシート 10 … 波鷹プロック 10 . … 一体物波調プロック 12 … 波調部 13 … 波調ポルト 14 … ダイリップ 15 … 依弾性体

代理人 弁理士 松 本 武 章

# **持開昭 61-270114 (3)**



